

ファスナー用自助具の製作

1 相談内容

相談者は、脳血管障害によって左片まひのある方です。冬に着るジャンバーのファスナーを自分であげて、着たいと要望されました。そこで、ファスナーをあげる自助具がほしい、なければ作ってもらえないかという、ご相談がありました。

2 利用者プロフィール

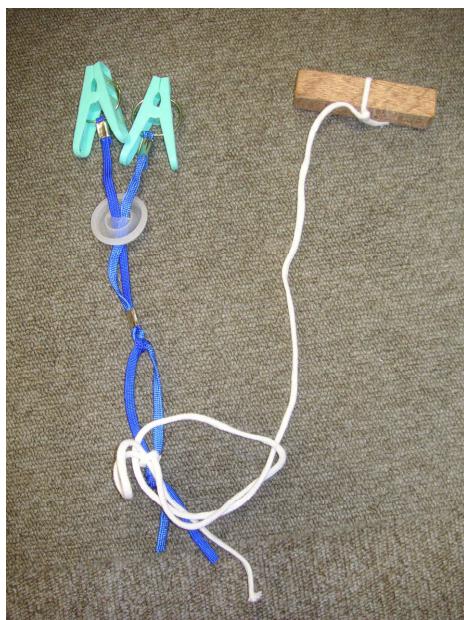
60代男性、脳血管障害により左片まひであり、身体障害者手帳1級、要介護度2の方です。妻が介助者です。だいたいのことはご自分でなさるため、ケアマネージャーはいないとのことでした。

3 対応

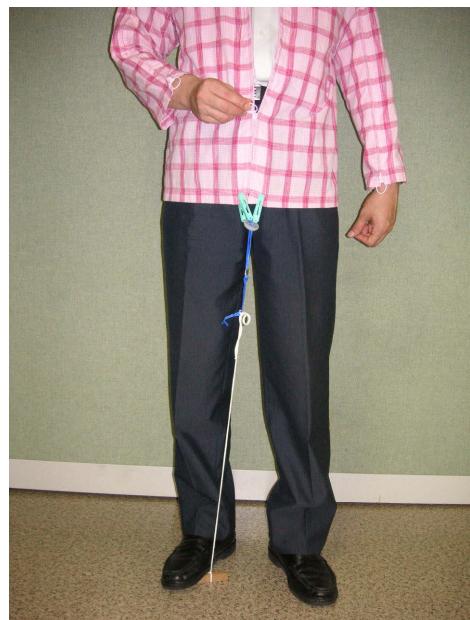
ジャンバー自体の改造（例えばファスナー部をマジックテープに置き換えるなど）を望まれませんでしたので、以下のようなファスナー用の自助具を製作しました。

使い方

洗濯バサミでジャンバーの左右のすそをはさみ、フィルムケースを上にあげて、左右のすそを近づけます。それから木片を右足で踏んで引っ張ると左右のすそがぴったり重なります。そこで右手でファスナーをかけ、上へあげます。なおファスナーにはリングを付け、指をかけて上にあげやすいようにしました。



製作したファスナー用自助具



自助具をジャンバーの端につけた様子

4 結果

本人には自助具の操作に少し慣れが必要でした。しかし、好みのジャンバーを自分で着ることができ、おしゃれも楽しめるようになりましたという感想をいただきました。